

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3642
事務事業名	4290 特別保育事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	02020900 子育て環境の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費					
	事業	040000 特別保育事業					
事業目的				事業概要・効果			
保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。				保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応により地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図れた。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
延長保育延児童数 4,157人 特別支援保育 34人 一時保育 276人 乳児保育 449人 病後児保育 88人	延長保育延児童数 4,300人 特別支援保育 32人 一時保育 180人 乳児保育 420人 病後児保育 77人
平成29年度 実績	平成30年度 実績
延長保育延児童数 2,862人、緊急6,758人 特別支援保育 39人 一時保育 375人 乳児保育 531人 病後児保育 108人	延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定	延長保育延児童数 5,067人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		59,789	95,927
特定財源	国庫支出金	3,949	5,299
	都道府県支出金	3,949	5,299
	地方債	0	0
	その他	28,448	2,178
一般財源		23,443	83,151
人員数(人)	正規職員	3.4	3.4
	嘱託職員	5.2	5.2
	臨時職員	66.0	72.0
人員コスト	正規職員	24,701.0	24,701.0
	嘱託職員	14,710.8	14,710.8
	臨時職員	85,668.0	93,456.0
	計	125,079.8	132,867.8
市民一人当たりの経費		3.5	4.4
総額		184,868.8	228,794.8

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,389	消耗品費等1,389
13節 委託費	4,117	英語指導3,922、体育指導195
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	11,847	病後児保育負担金11,847
その他	42,436	臨時職員人件費等42,436

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,477	消耗品費1,000、賄材料費477
12節 委託費	4,158	英語指導3,924、体育指導198
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	15,897	病後児保育負担金15,897
その他	74,395	パート職員人件費等74,395

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	特別な支援が必要な児童は増加傾向にあり必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	公立での特別な支援が必要な児童の保育は有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	効率的な特別な支援が必要な児童への保育を実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
特別な支援が必要な児童は増加傾向にあり必要不可欠

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>特別支援保育、乳児保育、延長保育など保護者の多様化する保育ニーズに対応することができたが、保育士確保が課題。</p>		<p>多様化・複雑化する特別保育ニーズに的確に応える必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	